



# しろうさぎ

S H I R O U S A G I



TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください



## Contents

特集 Special Issue

### 『病院のおもてなし

～誰もががくつろげるやさしい空間をめざして～

#### 📎 病院の中の小さな街

- コンシェルジュ…………… 川上 ゆみ子さん
- タリーズコーヒー…………… 店 長 高本 翔さん
- 理・美容みしま…………… 理容師 米山 文幸さん
- ローソン…………… 副店長 北浦 潤司さん



- \* プロジェクトM
- \* 在宅医療を支えます  
～病名や年齢に関係なく、看護が必要な方は、  
訪問看護が利用できます～
- \* 私のここだけの話
- \* 留学生の国自慢
- \* イベントなどのお知らせ
- \* ニュース&トピックス



## ローソン 島根大学病院店

営業時間／24時間年中無休 取り扱い品目／食品から雑誌まで何でも揃っています。  
TEL／0853-20-2406



副店長  
北浦潤司さん

—当店のローソンは「ホスピタルローソン」で、普通のコンビニとはちょっと違いますね。

**北浦さん** 店内は陳列棚を低くし、棚と棚の間は車椅子の方が楽に通れる幅に設計されています。多種の医療衛生用品を扱うため、最初は商品を覚えるのに苦労しました。病院店ですから、お酒とタバコは販売しておりません。当店ではスナック菓子などよりも、健康を意識した商品が良く売れています。

また、コンビニは24時間営業が普通だと思われていますが、病院店の24時間営業は珍しいんですよ。

—利用者の視点に立って営業されているんですね。日頃から心がけていらっしゃることはありますか。

**北浦さん** 毎日たくさんの方々が来られますので、危険がないように常に気を配っています。丁寧な接客を心がけ、一人でも多くのお客様に喜んでいただきたいです。



ホスピタルローソンならではの医療衛生用品充実の品揃え。お見舞いのお花や24時間利用可能なATMもあります。



副店長

おすすめ!

おなじみのからあげくんは常時置いている人気商品。夏はフローズンコーヒーをどうぞ。



## 理・美容みしま

営業時間／平日・土曜日:8:30~17:00  
(予約があれば19時まで延長)

休業日／第3土曜日、日曜日、祝日、  
年末年始(12月30日~1月3日)

予 約／ご予約はお電話をお願いします。予約時間は9時から1時間おきに18時まで受け付けします。

T E L／0853-23-2111 (附属病院代表番号)



理容師  
米山丈幸さん

開院から37年営業しています。お客様にリラックスしていただけるように、「街の理容店」そのままの雰囲気を大切にしています。仕上げの後、「さっぱりした。病気がなおったようだわ。」と言われるときは、本当に嬉しかったです。

頭部を手術される患者さんのため、前日に病棟に出張し、剃毛もさせていただきます。

お客様の中には、退院後、20年通ってくださっている方や、奥様の受診の間に散髪される方もいらっしゃいます。隣には美容室もございます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。



## タリーズコーヒー 島根大学附属病院店

平日／7:00~21:00 土・日・祝日／9:00~18:00 年中無休  
TEL／0853-24-7721



店長  
高本翔さん



—おしゃれで落ち着いた雰囲気のお店ですね。

**高本さん** たくさんのお客様にご利用いただいています。患者さんは気分転換に、お見舞いの方、お仕事の方はご休憩に、学生さんは勉強に、と利用スタイルも様々です。病院に用がなくても、当店でコーヒーや食事を楽しまれるお客様もいらっしゃいます。

—病院店としての取り組みは。

**高本さん** 車椅子の方でも利用しやすい手すりやカウンターを設置しているほか、接客時の心配りを大切にしています。

大学・病院の会議・イベント時には、デリバリーサービスをご利用いただき、大変好評です。

—お客様との交流で印象に残ったことはありますか。

**高本さん** 入院中、毎日紅茶を飲みに来られた方が退院される時「また来るよ。」と声をかけてくださいました。大変嬉しく、励みになりました。

入院患者様へ

入院着のままでも大丈夫ですので、お気兼ねなくご来店ください。

店長

おすすめ!

カフェインレスのコーヒー「デカフェ」は夜眠れない方、妊婦さんも安心。病棟では出産後のお祝い膳でも提供可能です。





病院の中の小さな街

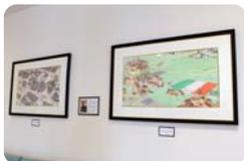
病院1階

市民ギャラリー



B病棟1階渡り廊下には「市民ギャラリー」があり、訪れていただいた方の心を和ませています。市民・芸術家の方々の作品発表の場としてもご活用いただいています。

C病棟1階では津和野出身の安野光雅氏の絵画（複製）をご覧いただけます。



病院1階

外来患者さんも、入院患者さんも、付き添いの方もお気軽にご利用ください。健康や病気に関する図書、雑誌を中心に置いています。パソコン(2台)も利用できます。



病院患者図書室ふらっと

開室時間 月曜日～金曜日  
8:30～21:00 土・日・祝日休み

病院2階

お食事・ご休憩処 ラパン

営業時間/月～金 11:00～15:00 土・日・祝日・年末年始休み



美味しさは  
手作りから



ラパンは幅広いお客様にご利用いただける家庭的な雰囲気のある食堂です。日替り定食の「煮込みハンバーグ」は、前日からじっくり煮込み、ふっくらジューシーな味わい。「メンチカツ」や「白身魚フライ」もスタッフが心をこめた手作りです。



また、日替り弁当は、学内の配達もしています。一日約100食がすぐに完売になるほどの人気です。

このほか、季節・行事にちなんだメニュー開発もしています。6月からパスタ、デザートの新メニューも開始しました。皆様のご利用をお待ちしています。

※メニューは日によって異なります。

B病棟2階

患者家族待合室

ICU、救命救急センター病棟に入院されたご家族、手術待ち患者さんのご家族の方々にご使用いただく共用スペースです。TV、自動販売機、コインロッカーもあり、安心して過ごしていただけます。



C病棟5階

屋上庭園



ボランティア  
石橋佑二さん

夏は朝夕2回の水遣りがかかせません。強風にも気を付けています。

ボランティアの方々によって、花壇の花の植え替え、水遣りなどの手入れが毎日行われています。美しい花々と神戸川を臨む風景が心を開放してくれます。



どうぞくつろぎのひとときをお過ごしください。

小児科特任教授 山口清次は、小児の障害発生予防のため新生児検査(マススクリーニング)の研究を長年行ってきた。頻度の少ない先天性代謝異常による障害の発症や重症化から救う方法を全国に広める活動をしてきたが、そこには、山あり谷ありのドラマがあった…

#### 3話連載

#### 第3話

#### タンデムマスとの出会い

1975年、山口は岐阜大学を卒業後、同大学小児科に入局し、1982年から質量分析法(GC/MS)を用いた先天代謝異常の研究を始めた。研究自体は順調であったが、一方で「このような珍しい病気の研究を続けていて、世の中のために役に立つ日が来るのだろうか」という不安に襲われることもあった。

#### 島根医科大学に着任

1993年、島根医科大学(現島根大学医学部)に教授として着任した。1990年代に米国で開発された「タンデムマス法」(質量分析法)が、それまでの「ガスリー法」に代わって「新生児マススクリーニング」に応用されはじめていた。新生児スクリーニングとは、生まれた赤ちゃん全員を検査して、かかっている代謝異常の病気を見つけて障害の発生を予防する事業である。

山口は、早くからタンデムマスに着目していて、島根医科大学着任当初から、タンデムマスの概算要求を行ってきた。しかし、5～6千万もする分析機器に、予算は簡単には付かなかった。

「このままでは日本が世界に取り残されてしまう」

山口は意を決し、島根医科大学事務部長の丸山彰(当時)に相談した。

「島根医大にタンデムマスを導入することは国益にかなうことです。」

いささか大胆な説明であった。

すると、丸山は、笑いながら言った。「私が文科省に行く時に声をかけますから、役人に直接話してみられては?」

#### 文部科学省との折衝

文部科学省では、最初のうち若い役人の前でけんもほろろだった。しかし、その後、3～4回折衝を重ねた結果、補正予算で「産学連携に資する機器」という条件で、予算がつくことになったのだ。山口がこのとき偶然にも、「島根医大産学連携センター長」という肩書きを持っていたことが幸いした。

「どうしても手に入れたい夢があるなら、粘り強く心の中で念じていると、いつかかなえられる」と実感した時だった。

#### タンデムマスの全国導入

2004年から厚生労働省の「新生児マススクリーニング研究班」ができ、山口はその班長に抜擢された。そして2011年に厚生労働省から「タンデムマス法」を新生児マススクリーニングに積極的に導入するよう、全国自治体に通達が出された。結果的に、山口はわが国の小児保健事業の歴史的な政策変更に関与することになったのだ。

かくして、タンデムマスは2014年度から全国に導入された。

希少難病研究を続けたことは、数え切れない命を救うことに繋がっていた。

山口の研究してきた希少疾患を診断する質量分析技術は、知らない間にアジアの新興国からも引き合いが多くなった。特にベトナムとは最近12年間相互交流、希少疾患の診断協力など、啓発活動を続けた。その結果ベトナム等のアジア新興国でも最近質量分析を応用した新生児マススクリーニングが普及しつつある。

2016年、山口は、ベトナム政府から「国民健康勲章」を授与された。





## 「病名や年齢に関係なく、看護が必要な方は、訪問看護が利用できます」

特定非営利活動法人 訪問看護ステーション愛 所長 わたなべ はまこ 渡部 浜子



当ステーションは、平成12年に開設し、18年目を迎えます。

「〇〇ちゃん」と声掛けしていたお子様の利用者さんも「〇〇さん」に変わり、利用者様の訪問を終えたお宅を数年後、他の御家族の訪問にお邪魔して、お互いに年取りましたねと笑いあう事も増えてきました。

訪問看護師は、病気や障害があっても、自宅で自分らしく生活したいという当たり前の気持ちを、主治医をはじめとする多職種で支えるサービスの一員です。

- ・不安定な病状が安定し、入院の頻度が減ること
- ・医療処置をしながらの退院になった場合、生活しながら医療処置が安定してできるようになること
- ・病院に出かけにくくても、希望する医療がしっかり受けられること

等を目指しながら、田園風景の中で楽しく看護させてもらっています。

看護の勉強をしっかりしていくことが在宅療養者様の自由な生活に役立つと実感しながらの毎日。島根大学病院の皆様にも沢山教わっています。



### 私のここだけの話

## 「医事課の思い出」

いしとび じゅんいち  
医学部 医療サービス課 課長補佐 石飛 淳一



チョコ

我が家の家族の一員



ハナ

私は、大学での業務の約半分を、医事課（現：医療サービス課）で従事してきました。

若い頃の今でも覚えている三つの思い出を書かせていただきます。

- ①受付で年配の患者さんに「今日はどこを受診されますか。」と尋ねた時、「イモ洗いにきた。」との返事。「?」、MRI 検査に来られたことが分かったこと。
- ②医師から送付される手書きの病名通知書に書かれた病名を事務で入力していた頃、誰が見ても判別できないため医師に照会した際、「これが読めないなら辞めなさい。」の返事。「?」
- ③受付を診察券入れに入れられた順番にお呼びし受付をしていたころ、取り出した診察券が散乱し、集めた順番に受付をしたときの患者さんからお叱り。

昔は様々な出来事が起きたとしても、忙しさの中に心に余裕があった思いがします。

今はどうでしょう。水戸光圀の歌ではありませんが「ただ見ればなんの苦もなき水鳥の足に暇なき我が思いかな。」の心境です。



歯科口腔外科  
ドンさん



今回はベトナムからいらっしゃっているドンさんに母国について紹介していただきました。

こんにちは。ドン ゴック クアンです。ベトナムのハノイ市から2016年9月に島根大学に来ました。歯科口腔外科で学んでいます。

私の故郷ハノイは1010年頃からベトナムの首都です。この街は中国とフランス文化から影響を受けており、数多くの典型的なアジア様式の建物と西洋式の建物が、一緒に見られます。

ハノイは、たくさんのストリートフード(屋台などで売られている料理)があることで有名です。一番有名なのは、もちろん、フォー(米粉の麺料理)です。

ほかにも、ブン・チャー(つけ麺)、チャーカー(ナマズに似た白身魚にネギなどを油で炒めて味わう鍋料理)、バン・クオン(米粉の蒸し餅)などさまざまな料理があります。ぜひ、ハノイに来て召し上がっていただきたいです。ベトナムでお会いしましょう。

### 文庫・国立大学

1070年建立・1076年に大学を設置(ベトナム最古の大学)



赤い門は、ハノイのシンボル奎文閣。

現在は観光地としてたくさんの観光客で賑わっています。

### バン・クオン

中身は米と豚肉、キクラゲを炒めたもの。小皿のソースをつけていただきます。



# イベントなどのお知らせ

## 島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

当院に来院される患者さんや一般市民の方の健康づくりにすこしでもお役立ていただきたいとの思いから、健康や医療に関するミニ講座を定期的開催しています。予約不要で途中参加・退出も自由です。どうぞお気軽にご参加ください。

実施内容は下記のとおりです。



**対象** 患者さんほか一般市民 **場所** 外来1階 外来待合ホール **時間** 11:00~11:30

回数	月日	担当	講師	テーマ
第175回	7月6日(木)	小児科	竹谷 健	気になる?予防接種の話
第176回	7月13日(木)	精神科神経科	三浦 章子	不眠・不安と漢方薬
第177回	7月20日(木)	腫瘍・血液内科	大西 千恵	長引く腰痛は要注意!!(骨髄腫のお話し)
第178回	7月27日(木)	循環器内科	佐藤 寛大	心臓弁膜症と新しい治療法について
第179回	8月3日(木)	放射線治療科	猪俣 泰典	意外な方法による放射線治療
第180回	8月10日(木)	高度外傷センター	下条 芳秀	急性腹症(急な腹痛)について
第181回	8月17日(木)	呼吸器・化学療法内科	濱口 愛	胸部検診～あなたの街にCT検診車がやってきます～
第182回	8月24日(木)	腎臓内科	江川 雅博	糖尿病性腎症について
第183回	8月31日(木)	消化器内科	玉川 祐司	カプセル内視鏡はこんなに楽で、こんなに良く見えます!!
第184回	9月7日(木)	産科・婦人科	中村 康平	未定
第185回	9月14日(木)	放射線科	吉田 理佳	「ちょっと気にして」造影CT
第186回	9月21日(木)	救命救急センター	瀧波 慶和	応急処置
第187回	9月28日(木)	認知症疾患医療センター	濱田智津子	もの忘れと車の運転

## 病院ボランティアコンサート開催予定

7月21日(金)19時より 安来節保存会 斐川支部

8月18日(金)19時より 島根大学 邦楽部

9月15日(金)19時より 島根大学 フローラ室内楽団

9月29日(金)19時より 出雲楽友協会



開催場所：附属病院1階外来待合ホール

## 島大病院 ちょっと気になる健康講座 放送予定 (出雲ケーブルビジョン)

平成29年7月放送 リハビリテーション部 作業療法士 佐藤 千晃  
在宅での介護が楽になる! ～便利な福祉用具の紹介～

## 誰でも参加出来る糖尿病教室

参加費無料!  
予約不要です☆

場所：外来中央診療棟3階「だんだん」

7月24日(月)15時～16時(受付14:30～)

講演1 「夏に注意する低血圧と高血糖」  
藤井奈々子 看護師(糖尿病療養指導士)

講演2 「血糖値を下げる歯の磨き方」  
歯科衛生士

9月25日(月)15時～16時(受付14:30～)

講演1 「秋の味覚を楽しむための簡単レシピ」  
金山 友紀 管理栄養士

講演2 「それは認知症のサイン!? 糖尿病と認知症の関係」  
和田 里美 医師(内分泌代謝内科)

●その他、無料血糖測定を行います。

## 入院児童等家族宿泊施設「だんだんハウス」オープン

ニュース  
NEWS & トピックス  
TOPICS

「だんだんハウス」は、遠方からの小児患者さんの長期入院に付き添うご家族の経済的・精神的負担を軽減するために病院敷地内に建てられた宿泊施設です。平成29年3月に竣工、4月から利用を開始しました。

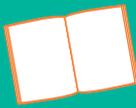
同ハウスは、鉄骨平屋建て、宿泊室は5室(洋室3室：うち1室は車椅子対応、和室2室)あり、部屋には生活に必要なものが揃っています。

ご家族に穏やかな気持ちで過ごしてほしいとの願いから、建物のデザインには、小説「赤毛のアン」の舞台となったプリンスエドワード島の暖かくさわやかなイメージを取り入れ、すべての宿泊室と多目的室に津和野町出身の画家・安野光雅氏の水彩画(複製)が飾られています。

利用料金は1室あたり1日890円～1,080円で、キッチン・多目的室(プレイルーム)や洗濯室などを自由に利用できます。

お問い合わせ 医療サービス課 TEL0853-20-2069





# 島大病院 書籍のご紹介



第3弾 好評発売中!

「検査で分かる動脈硬化」  
「子宮筋腫といわれたら」など

42項目

島大病院・1年分の健康講座を  
この1冊にまとめました。

## 島大病院 ちょっと気になる 健康講座3

Shimane University Hospital Lectures on Health

監修:島根大学医学部附属病院 発売:今井出版  
A5判/並製本/136頁/オールカラー 定価:本体 926円+税



島根大学病院の  
スタッフがわかり  
やすく解説します。

お近くの主要書店、インターネットでお買い求めいただけます。ご注文は 今井印刷株式会社 0859-28-5551

大好評の第1弾に続き、第2弾が完成しました!

島大病院内で無料配布しています!

「病院食のレシピが知りたい」という  
入院患者さんからの声を受けて、  
1冊のレシピ本を作りました。

## かんたん 病院レシピ 第2弾

Hospital Recipe

監修:島根大学医学部附属病院 栄養治療室  
B5判/オールカラー 無料



15  
レシピ!

レシピが見やすく  
作りやすい

いろいろな年代の  
方に喜ばれる  
メニューです

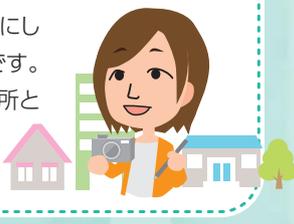
### 編集後記

今月号から「しろうさぎ」編集を担当します今若です。  
旅が好きで、風景や歴史、人との出会いをいつも楽しみにし  
ています。これから、旅をするように島根大学病院の「今」を生き生きとお伝え  
したいと思います。

今回、取材をしてわかったのは、病院を心地よい空間にし  
ているのは、人々の「おもしろい心」であるということです。  
「来るだけでほっとする」、そんな、体も心も癒される場所と  
して、当院が皆さんに親しまれるよう願っています。

次号は10月発行予定です。

【編集者より】



島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ  
についてのお問い合わせ先



医学部総務課 企画調査係 広報担当  
☎ 0853-20-2019  
✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp  
🌐 <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>